



2024年5月8日

各位

会社名 タカセ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 大宮司 典夫
(コード番号9087・東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部財務部長 吉田 吉与
(TEL. 03-3571-9497)

繰延税金資産の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期決算において、下記のとおり繰延税金資産を計上する見込みとなりました。また、2024年2月7日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、近年の業績が堅調に推移し、将来にわたり課税所得の発生が見込まれることから、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」上の企業分類を変更し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2024年3月期において繰延税金資産を追加計上し、法人税等調整額として△133百万円（△は利益）を計上する見込みであります。

2. 業績予想の修正について

(単位：百万円)

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	8,250	210	260	200	200.01
今回修正予想 (B)	8,190	170	220	300	299.92
増減額 (B-A)	△60	△40	△40	100	—
増減率 (%)	△0.7	△19.0	△15.4	50.0	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	8,904	295	371	278	279.91

修正の理由

営業収益につきましては、期初計画と比較して国際貨物の荷動きは低調であったものの、国内主要顧客業務の貨物取扱量が堅調であったことから、前回発表予想とほぼ同水準となる見込みであります。また、利益面につきましては、諸コストの上昇に対処すべく作業人員数

の見直しや適正な配置、物流機器の導入等により労務コストの削減に努め、顧客に対しては、コスト上昇分の収受料金改定を要請し、一部実現したものの、いずれも増加したコストを吸収するには至らず、加えて期初から続く中国現地法人の不振もあり、同予想を下回る見込みとなりました。一方で親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「1. 繰延税金資産の計上について」に記載した理由により、同予想を大幅に上回る見込みであります。

以上の結果、営業収益は、前回発表予想数値に対して、60 百万円減の 81 億 90 百万円、営業利益は同 40 百万円減の 1 億 70 百万円、経常利益は同 40 百万円減の 2 億 20 百万円となる見込みであります。親会社株主に帰属する当期純利益は、1 億円増の 3 億円となる見込みであります。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上